

経年実証試験（予備調査）の実施状況について

<経年実証試験の目的>

高額なイニシャルコストを投入する山岳トイレ技術の普及には、導入した装置が長期間にわたって安定的に性能を維持していることが重要な要素である。経年実証試験は、実証試験後複数年経過した後の性能の維持状況を確認し、ユーザーに提供することを目的に実施する。

予備調査は、経年実証試験を費用面と作業面の両面から効率的に実施することを目的として実施する。経年実証試験を担当することになった実証機関は、予備調査結果を元に実証試験を実施する。

<経年実証試験の今後の流れ>

年度	実施内容	実施主体	費用負担
本年度 <A>	予備調査の実施	実証運営機関	環境省
次年度 	経年実証試験の実施 (試料分析原則 1 回)	実証機関 (実証運営機関 が実証機関の機能 を兼ねることも可)	申請者 (手数料)
	報告書の作成		+ 環境省

< A >

実証運営機関は、実証装置の管理者等に対して「予備調査」を実施する。この調査では、以下の事項を主な視点とし、書面及びヒアリングによる維持管理等に関する状況を、設置者、管理者、メーカー等に確認を行なう。

- ・ 経年的な維持管理状況（日常管理内容、メンテナンス実施内容、ランニングコストなど）に関する確認
- ・ 利用負荷（利用者数等）の状況の確認
- ・ 過去の実証試験において、技術実証委員会が指摘した改良点などの確認

< B >

通常の実証試験の流れの中で、試料分析回数を原則 1 回とし、実証機関において試験を実施する。

予備調査における確認項目について

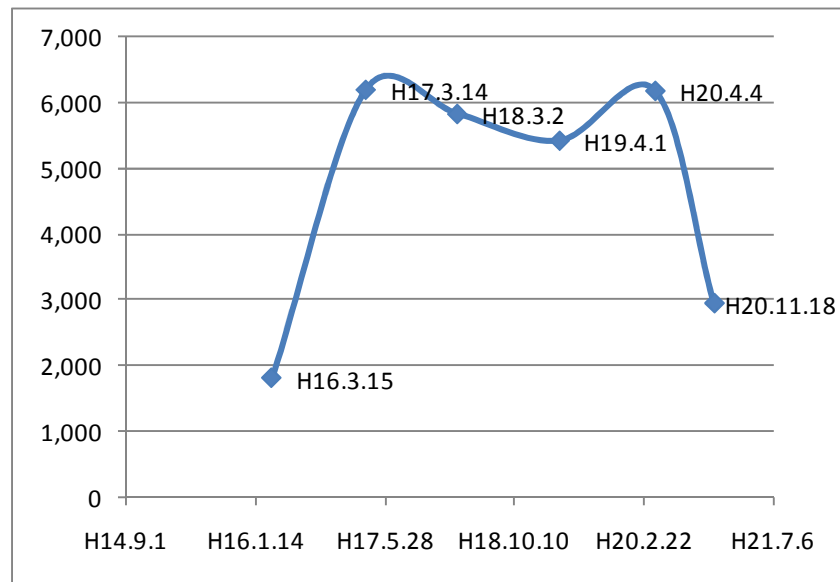
(1) 経年的な維持管理状況（ランニングコストを含む）に関する確認

鍋割山公衆便所 維持管理費等支出実績			
年	項目	金額	年度小計
H16 年度	トイレペーパー	1,782	1,782
H17 年度	トイレペーパーほか	10,758	111,748
	消化消臭酵素	75,600	
	トイレペーパーほか	25,390	
H18 年度	トイレペーパーほか	2,042	132,074
	年次点検・尿石除去	36,750	
	消化消臭酵素	75,600	
	トイレペーパーほか	17,682	
H19 年度	年次点検・尿石除去	36,750	136,332
	トイレペーパーほか	17,682	
	消化消臭酵素	75,600	
	尿石クリーナー	6,300	
H20 年度	トイレペーパーほか	26,444	145,094
	年次点検	36,750	
	尿石クリーナー	6,300	
	消化消臭酵素	75,600	
		合計	527,030

鍋割山公衆便所 維持管理費等支出実績より引用

(2) 利用負荷（利用者数等）の状況の確認

※各値は、丹沢大山国定公園山岳公衆トイレ運営委員会 チップ収入実績 鍋割山公衆便所より推計（チップ収入を設定金額50円で除した値）したものである。



※H16は期中における設置から期末までの値、H20 は機首から期中の値のため、他の年度に比べ低い値となっている。

確認時期	利用人数推計
H16.3.15	1,815
H17.3.14	6,210
H18.3.2	5,840
H19.4.1	5,433
H20.4.4	6,193
H20.11.18	2,954

(3) 過去の実証試験において、技術実証委員会が指摘した改良点などの確認

本実証試験地における装置の改良等を行っていないため、本事項については非該当。

<参考資料>

実証試験結果報告書概要版